

## 将来像の検討資料

### ■第2回総合計画審議会（10/29）における方向性

- ・ 案2を軸にし、第1次総合計画との継続性を考慮すること。
- ・ 市民協働というキーワードを付け加えること。
- ・ この2つの考え方で、山川会長と事務局で協議して案を示す。

### 【第2次総合計画の将来像の案】

- ・ 案1「人と地域のきらめき 歴史と文化の誇り 笑顔と感動あふれるまち 白河」
- ・ 案2「人・文化・自然が織りなす 活力のあるまち 白河」
- ・ 案3「地域とともにみんな未来へ進む 歴史のまち 白河」
- ・ 案4「みんなで創る 地域と育てる 躍動と創造のまち 白河」
- ・ 案5「市民共創（市民共楽）で未来へはばたくまち 白河」

### 【第1次総合計画の将来都市像】

「人 文化 自然 とともに育む のびゆく白河」

### ■その他の論点整理（委員意見等を整理した上での論点・ポイント）

- ・ 短くコンパクトなフレーズ・表現とすることが必要ではないか。
- ・ 「歴史」というキーワードを盛り込む必要があるのではないか。
- ・ 「愛着」や「誇り」を連想させるキーワードを盛り込む必要があるのではないか。
- ・ 第2次総合計画は、復旧・復興を最大の課題（計画策定の趣旨）としていることから、課題解決に向けた取組みの姿勢を表すキーワードを盛り込む必要があるのではないか。

### ■将来像の案

- ・ 上記の論点整理を踏まえ、2つの案（裏面）を示すこととしたい。
- ・ 最終的には、第1次総合計画と同様に各キーワードに意味付け、図式化を行うこととする（説明の仕方・見せ方を工夫する）。

## 白河市の将来像

将来像は、白河が培ってきた魅力ある地域資源（人・文化・自然）を、市民と行政の協働によって発展させた姿として設定し、市全体で共有する目標とします。

### （案 1）

#### ともに育む 安心と活力ある 歴史のまち 白河

「**ともに育む**」⇒ 市民と行政が一体となって「人」、「文化」、「自然」を育て、まちづくりを行う姿を表しています。

※第 1 次総合計画との継続性を考慮

「**安心と活力**」⇒ 震災前の状態に戻すだけでなく、以前よりも安全・安心と経済的な基盤が確保された姿を表しています。

「**歴史のまち**」⇒ ふるさと白河を誇りに思い、愛着が生まれ、白河の発展を支える力につなげていけるように、白河の特徴・強みである「歴史」を強調して、「白河らしさ」を表しています。

### （案 2）

#### ともに育む 笑顔あふれる 歴史・文化のいきづくまち 白河

「**ともに育む**」⇒ 市民と行政が一体なって「人」、「文化」、「自然」を育て、まちづくりに取り組む姿を表しています。

※第 1 次総合計画との継続性を考慮

「**笑顔あふれる**」⇒ 安心、活力や賑わいなどがいっばいに満ちている状況として、震災前の状態に戻すだけでなく、以前よりも安全・安心と経済的な基盤が確保された姿を表しています。

「**歴史・文化のいきづくまち**」⇒ ふるさと白河を誇りに思い、愛着が生まれ、白河の発展を支える力につなげていけるように、白河の特徴・強みである「歴史」と豊かな生活に欠かせない「文化」を強調し、「白河らしさ」を表しています。